

10月24日は国連デー 国連旗をたてましょう

全国初の市営空港ひらく

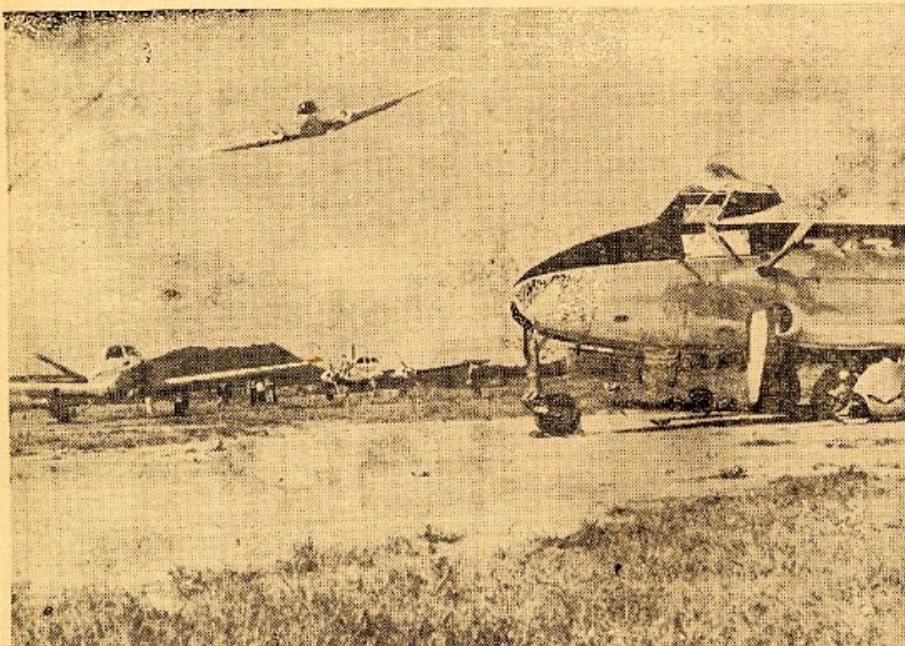
銀翼に轟く歓聲

明媚な風光に驚く操縦士

全国ではじめての市営飛行場としてテピ-1した鳥取空港が、さわやかな秋晴れに恵まれた9月21日、華々しく開設されました。これで十万市民が久しく熱望していた大阪、東京など大都市との交通に、また文化、産業、経済の交流など広範囲に亘る大鳥取市の躍進が約束される辰であります。

元の賀路、湖山地区の児童や中学校の生徒約二千名が手に手に開設を祝う小旗を打ち振り、また近郊からの参観者約三千名を含めて大盛況のうちに開設式典が挙行されまし打上げられた旗火の号砲を合団のよう朝日新聞社機の来鳥が午前9時つづいて毎日、読売、産経、日遊の各社機のはか、一際自立つ極東航空機など六機が入り乱れて

うち全機が無事着陸した。この大歓迎を受けたが熱狂して万才を發揮いたしました。

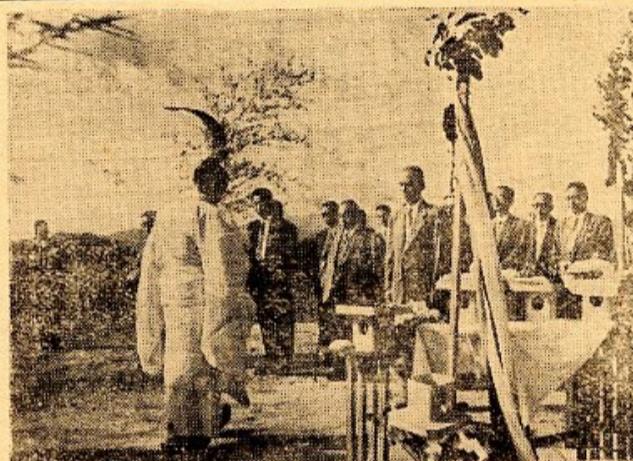


無限の前進祈る

川入江市長の式辭

鳥取市のこと、数年来の懸案でありました鳥取飛行場が、愈々本日を以て供用を開始し得る運びとなり、この間多大の御援助を頂いた皆様の御来臨を辱うし、盛大に開設式典を行ひ得ますことは、市民各位と共に誠に慶びに耐えない次第で御座ります。

この飛行場ができ上るまでの大略を申上げますと、もともと湖山飛行場として、かつて活用されていたものであります。局の林局長さんを始め、岩田飛行場課長さうめん、その他係官の方々、また美保航空保安課人々、事務所長さんや課長さ



華かに結成大会

花いっぱい推進会発足

花いっぽい推進会発足
かねてから提唱され、着々準備が進められて、いよいよその機が熟して、去る8月30日午後7時から、市内西町の市立児童会館ホールで、市内関係各団体機関の役員、有志者約二〇〇名が参集して盛大に、鳥取市花いぱい推進会の結成式が開催されました。この大会の日程は次の通り進められました。
1、開会のことば：発起人代表田中新次郎氏
2、議長選任：村上善吉氏
3、経過報告：児童会館建設長三谷豊氏から報告
4、議事：会則案審議など
次いで、役員選出では

「私たちの長い飛行生活 中、こんなに歓迎を受けたことは初めてでした：」と前置きして、掛ダブルの飛行服に鷺の胸章を輝かせながらその感想を語りました。次のように語りました。

『上空でみる鳥取市近郊の風景は実に絶景です。お上手ではなく、とにかくすばらしい。こんな景色のよい飛行場は全国

鳥取市役所
西町4111番
鳥取市總務課
電話代表
福集義兼

鳥取市
世帯
24,060世帯
人口
男 51,485人
女 55,561人
計 107,046人

昭和32.7.31現在調

國にも例がないでしょ。然るところ画された市街、東に延びた鳥取砂丘、糸若の日本海、飛行場を取り巻く松林、白線の湖山池と千代川など、とにかく上空で見る鳥取の風景は絶景の一語につきます。また着陸して見て実際に立派な飛行場だと思いまして。これは周囲に山がなく、よく開けていて飛行場が一ぱいに利用できました。これは周囲に山がないこと、着陸帯がよく張りの雨が降っても信頼して着陸できます』

以上のように語り、鳥取市長をはじめ、県知事、県会議員、入江市長、市会議員など市郊の近郊は国道の一路上にあります。また着陸して見て実際に立派な飛行場だと思いまして。これは周囲に山がなく、よく開けていて飛行場が一ぱいに利用できました。これは周囲に山がないこと、着陸帯がよく張りの雨が降っても信頼して着陸できます』

以上のように語り、鳥取市長をはじめ、県知事、県会議員、入江市長、市会議員など市郊の近郊は国道の一路上にあります。また着陸して見て実際に立派な飛行場だと思いまして。これは周囲に山がなく、よく開けていて飛行場が一ぱいに利用できました。これは周囲に山がないこと、着陸帯がよく張りの雨が降っても信頼して着陸できます』

稻葉山小学校体育館 祝 竣 工 久松小学校体育館

